

身障ぐんま

No.106 WINTER 2023

新年の挨拶

公益社団法人 群馬県身体障害者福祉団体連合会 会長 杉田 安啓

明けましておめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、おだやかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年中は、ご案内のようにコロナウイルス感染症拡大の対策を行ったため、各種の行事等が中止あるいは縮小せざるを得なくなっていました。

その中であっても、いくつかの事業の例を挙げると、7月に身体障害者相談員研修、8月にカラオケ交流大会、10月は研修旅行（猿ヶ京温泉）11月にグラウンド・ゴルフ大会（ふれあいスポーツプラザ）12月は障害者作品展（県庁舎県民ホール）などが会員の皆さまのご協力により実施されました。感謝を申し上げます。

本年は、企画いたしました事業は皆さまのご協力を得ながら昨年以上に実施していきたいと思います。

特に一昨年に障害者差別解消法が改正されて、合理的配慮の提供が「努力義務」とされてきた民間事業者も国や地方公共団体と同様に「法的義務」とされました。

この機会に私たち当事者団体として、行政や関係機関とともに障害者差別解消を推し進めていきたいと考えます。

私たち一人ひとりが障害の有無にかかわらず互いにその人格と個性を尊重しつつともに共生社会の実現に向けて行動を起こしていきましょう。

会員の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



目次

- P1 …新年の挨拶
- P2 …新年知事あいさつ
- P3 …早川副会長 県功労者表彰受賞
…群馬県社会福祉協議会会長表彰受賞
…第73回 公益社団法人群馬県身体障害者福祉大会開催
- P5 …令和4年度 身体障害者特別研修会開催
…群馬県身障連特別研修会に参加して
- P6 …第20回 県身障連グラウンド・ゴルフ大会開催
…グラウンドゴルフ大会に参加して
…令和4年度 研修旅行に参加して
- P7 …第23回 群馬県障害者作品展
…スポ・レク部会だより
…女性部会だより
- P8 …オストメイトが自分らしく快適に生活できるように

新年知事あいさつ

群馬県知事 山本 一太



明けまして、おめでとうございます。

県民の皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。併せて、新型コロナウイルス感染症との戦いの最前線で頑張っている医療関係者の皆様、感染防止対策にご理解、ご協力をいただいている全ての県民の皆様に、深く感謝を申し上げます。

さて、障害者差別解消法の一部改正に伴い、来年6月までには、障害者に対する合理的配慮の提供が、民間事業者等にも法的義務として求められることになります。障害の有無によって分け隔てられることのない共生社会の実現は、官民一丸となって取り組むべき重要課題です。本県の障害者施策の基本方針である「バリアフリーぐんま障害者プラン8」の推進と併せて、県が実施する取組に対して、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

去年は、前年に引き続き「新型コロナの抑え込み」と「経済の回復」に全力を注いだ1年でした。同時に、アフターコロナ時代を見据え、新たな富やイノベーションを生み出す政策にも、果敢に取り組みました。

日本の温泉文化をユネスコの無形文化遺産に登録する運動に関しては、全国有数の温泉王国である群馬県が中核となって、与党の国会議員連盟や、知事の会を発足させました。遺産登録に向けた強力な推進体制を整えることが出来たと考えています。

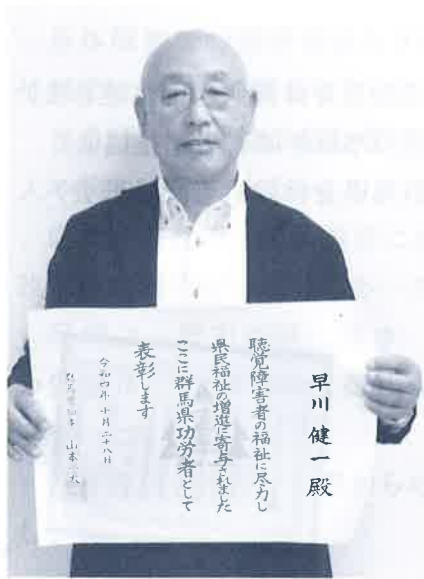
加えて、群馬県が、他県より一歩進んだ「DXの推進」や「災害レジリエンスの強化」を打ち出し、次々と政策を実行していることで、本県の存在感や評価は、大きく高まったと感じています。実際、2つの大手企業が群馬県への本社機能の移転を決めました。知事として、こうした動きをとっても力強く感じています。

4月には、Gメッセ群馬において、初めて誘致に成功した重要な国際会議「G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合」が開催される予定です。群馬県が目指す「デジタル技術による地域課題解決」の推進に大きく弾みをつけると共に、群馬の魅力を世界に向けてアピールする絶好の機会にしたいと考えています。

本年も、群馬県が未来ビジョンとして掲げた「誰一人取り残さず、誰もが幸福を実感できる自立分散型の社会の実現」を目指し、知事である私が自ら先頭に立ち、邁進していく決意です。

結びに、この1年が群馬県身体障害者福祉団体連合会の皆さまにとって健康で幸多い年になりますよう心から祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

早川副会長 県功労者表彰受賞



今回、群馬県功労者表彰を賜り、驚き、恐縮するばかりです。

2014年5月から、群馬県聴覚障害者連盟の理事長に就任し、その責務の重さから私一人の力では無理と悩み、戸惑うこともありました。そのような時も、“言語的障壁をなくし、誰もが暮らしやすい環境を！”を目標にして、共に考え、苦しみ、支えあいながら活動してくれた仲間感謝します。この仲間がいなければ、今はないと思います。

聴覚障害者が直面する情報取得の壁は、数多く社会に残されています。12年前に「情報・コミュニケーションは、生きる権利」と訴え、「WeLoveコミュニケーション」パンフの普及と、手話言語法の制定を求めた署名運動をしました。その結果、2022年5月に「障害者情報アクセシビリティコミュニケーション施策推進法」が成立しました。今後、一層、情報アクセシビリティの拡充を求め、活動を

展開する所存です。改めて、支えてくださった方々に感謝申し上げ、これからもご指導のほど、よろしく願います。

群馬県社会福祉協議会会長表彰受賞

この度、当連合会の相原幹男監事が永年の功績が認められ群馬県社会福祉協議会から模範自立障害者として表彰状が授与されました。心からお祝い申し上げます。

第73回 公益社団法人群馬県身体障害者福祉大会開催

11月18日午前10時30分、群馬県社会福祉総合センターにおいて第73回公益社団法人群馬県身体障害者福祉大会を開催し、物故者に対する黙祷、群馬県身体障害者福祉団体連合会杉田安啓会長のあいさつに続き、表彰式を行いました。

表彰式では、県身障連杉田会長から援護功労者1名、団体功労者9名及び自立更生者3名に表彰状が贈られ、受賞した13名を代表して、群馬県せきずい損傷者協会長の飯塚智宏さんから謝辞が述べられました。

表彰式の後、群馬県知事山本一太様（津久井副知事代読）、群馬県議会議長星名建市様（井下泰伸副議長代読）、群馬県社会福祉協議会会長川原武男様からご祝辞をいただきました。また、ご来賓として群馬県社会福祉事業団理事長武藤幸夫様にもご出席いただきました。

続いて、行われた大会宣言及び大会決議では、杉田会長が議長となり、大会宣言案を根岸副会長（沼田市身体障害者団体連合会長）が読み上げ、大会決議案を早川副会長（群馬県聴覚障害者連盟理事長）が提案し、いずれも満場一致で採択されました。

表彰関係

〈県身体障害者福祉団体連合会長表彰〉

●援護功労者

田島 睦子様（富岡市身体障害者更生会）

●団体功労者

荻原 幸江様（高崎市身体障害者団体連合会）

伊草百合子様（高崎市身体障害者団体連合会）

根岸 俊夫様（沼田市身体障害者団体連合会）

古山 淑子様（渋川市身体障害者福祉協会）

岩崎 昌子様（渋川市身体障害者福祉協会）

笠原 千市様（片品村身体障害者の会）

七五三木正澄様（公益社団法人群馬県視覚障害者福祉協会）

飯塚 智宏様（群馬県せきずい損傷者協会）

佐藤 賢一様（群馬県身体障害者スポ・レク部会）

●自立更生者

栗原 光子様（沼田市身体障害者団体連合会）

真藤 ハナ様（渋川市身体障害者福祉協会）

吉越 典子様（群馬県身体障害者女性部会）



大会宣言

新型コロナウイルスの終息が待たれるなか、多くの会員や関係者とともに、第73回福祉大会を盛大に開催することができた。

群馬県身体障害者福祉団体連合会は、「障害者権利条約」の主旨にのっとり、障害者の自立と社会参加の促進を目指し、活発な活動を続けてきた。

昨年行われた「オリンピック・パラリンピック東京大会」を経て、障害者・障害理解に対する社会的関心も高まった。この機運の中で、ユニバーサルデザインのまちづくりの実現と心のバリアフリーを、広く地域に根付かせるべく活動していかねばならない。

また、昨年には「障害者差別解消法」が改正され、事業者による合理的配慮の提供が法的に義務化された。

この改正により、共生社会の実現に近づくものと考えているが、改正法の実効性を高めるため、私たちひとりひとりが意識をもって関わっていくことが必要である。

そして、つながり合い、支え合える社会の実現に寄与できるよう取り組んでいきましょう。

我々は今ここに、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合い、いきいきと輝く共生社会を実現できるよう、一致団結して行動することを誓い、宣言する。

大会決議

- 1 障害理解を促進し、地域共生社会の実現をめざそう
- 2 障害者差別解消法の理解・啓発をさらに進めよう
- 3 地域に根ざした心のバリアフリーを広げよう
- 4 身体障害者相談員の活用と相談支援の充実を進めよう
- 5 一緒に仲間を増やし、組織の活性化を図ろう

第73回 群馬県身体障害者福祉大会



令和4年度 身体障害者特別研修会開催

身体障害者特別研修会を9月2日、群馬県社会福祉総合センターで開催しました。

当日は、会員及び福祉関係機関の方を含め約70人の参加となりました。

県身障連杉田会長の挨拶に続いて、来賓の県障害政策課高橋淳課長からごあいさつをいただきました。

研修は、歴史作家 清水 昇氏から「戦国武将の健康法」(織田信長、徳川家康など)と題して講演をいただきました。

当日参加いただいた方からの感想を次に掲載いたします。



群馬県身障連特別研修会に参加して

関川 健二

令和4年9月2日(金)群馬県身障連特別研修会が群馬県社会福祉総合センター8階大ホールで開催されました。私を含めて50名ほどの人達が集まりました。主催者の県身障連の杉田会長の挨拶・来賓の県障害政策課高橋課長の挨拶の後に今回の講演の講師、歴史作家清水 昇先生の講演が開始されました。

演題「戦国武将の健康法」(織田信長・徳川家康など) 戦国武将達のさまざまな健康法を紹介して頂きました。

毎朝梅干を食べていたという北条早雲、梅干しには殺菌作用があるとの事で、ガン予防にもなるとおっしゃっていました。

次に、織田信長の性格については、短気で人を平気で使い捨てる男だったが決断力と実行力があつた、とのこと。また、疲労回復のために水泳をしていたことなど、面白い話だと思いました。

その後も、木下藤吉郎は豊臣秀吉の若い頃の名前であり、彼は玄米を咀嚼して脳に刺激を与え、その知恵を使って天下取りをしたこと、越後の龍と称された上杉謙信の場合は、ストレスを溜めないようなプラス思考が健康法だったと教えていただきました。

戦国武将最後は徳川家康の健康法でした。

徳川家康は、健康オタクで粗食を守り、一貫して麦飯を食べていた。その結果として長寿につながつたとおっしゃっていました。

今回、初めて参加させていただき、どんなことをやるのだろうかと不安もありましたが演題が興味深い話で、結果的に良かったと思いました。次回も参加したいと思いました。



第20回 県身障連グラウンド・ゴルフ大会開催

第20回グラウンド・ゴルフ大会を令和4年11月13日(日)、群馬県立ふれあいスポーツプラザで開催しました。

この大会は、県内身体障害者の健康保持増進と相互交流を図るとともに、身体障害者スポーツの振興に寄与することを目的に、毎年開催しています。

今年の大会には、7団体から14チーム、58人が参加しました。開会に続き県身障連杉田会長の力強いあいさつ、グラウンドゴルフ協会清水副会長からの分かり易いプレー上の注意、同協会長井副理事長による楽しい準備体操の後、同協会の山岡理事長の笛の合図でプレーを開始しました。

降雨も予想されましたが、日差しのちょうど良い絶好の天気にも恵まれました。

選手の皆さんは日頃の成果を充分発揮された方も、調子が出なかった方もおられましたが、全員の方が気合いも入り、楽しんでプレーをされたようです。

6位までの入賞者をはじめ、ホールインワン賞、参加賞も贈呈されました。

今回も県グラウンド協会の皆様には、会場設営から当日の大会運営まで全体的なご協力をいただきました。また、県立障害者リハビリテーションセンターには駐車場をおかりするなど多くの方々のご支援ご協力により、楽しく有意義な大会となりました。

昨年に引き続き優勝された峯岸さんから寄稿をいただきました。



グラウンド・ゴルフ大会に参加して

高崎支部 峯岸 誠

令和4年11月13日「県立ふれあいスポーツプラザ」にて「第20回県身体障害者連合会、グラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。

当日は好天に恵まれて絶好なグラウンドゴルフ日よりとなりました。

県内各地より会員のグラウンドゴルフ愛好者が58名集まり(沼田と片品はバスで来場)「杉田会長挨拶」「準備体操」「県グラウンドゴルフ協会役員のルール説明」の後開始されました。

16ホールストロークプレイで皆さん楽しく競技して和気あいあいのうちに終了しました。

私は運良くホールインワンが2本出て優勝しました。

去年に引き続き2年連続の優勝でした。

群馬県グラウンドゴルフ協会の皆さん朝早くから協力頂き有難う御座いました。

令和4年度 研修旅行に参加して

群鈴会 齋藤 久嘉

コロナ禍がいく分、落ちついた10月26日、晴天にも恵まれて猿ヶ京温泉に向かいました。車中の身障連事務局、また杉田会長のあいさつをいただきながら、まんてん星の湯に到着しました。

現地直行参加者と合流し、まんてん星の湯で入浴、食事、休息をしました。赤谷湖が見渡せる露天風呂、紅葉もすばらしく最高のひとときでした。

その後「三国館」へ移動し観劇に。

女座長と二人の子供さん、女役、男役を上手に二役をこなして喝采を浴びて会場全体が笑いと涙の渦につつまれ、楽しい時間を過ごさせていただきました。

身障連の事務局、そして役員の皆様、今回の「粋な計らい」日帰り温泉の旅、一日有意義に過ごせました。思い出に残るページとなりました。ありがとうございました。

第23回 群馬県障害者作品展

障害者への理解を深めるとともに、障害者の自立と社会参加の推進を図ることを目的に令和4年12月6日から11日まで県庁舎県民ホールにて作品展を開催しました。作品総数195点、制作者数263人、期間中の来場者は1,588人となりました。多くの方から「素晴らしい」との感想をいただきました。

●出展作品数 195点（エントリーは203点）

（内訳）

| 絵画 | 書道 | 写真 | 手工芸 | 立体作品 | その他 |
|----|----|----|-----|------|-----|
| 75 | 12 | 7 | 75 | 16 | 10 |



スポ・レク部会だより

群馬県身体障害者スポ・レク部会会長, 原口 とし子

落合梁・情報交換&交流会

お天気にも恵まれて、令和4年9月25日（日）渋川市の落合梁で鮎定食の食事会・情報交換&交流会が開催されました。川のそばで、とても景色の良い場所でデッキ席でいただきました。とても美味しくて食事も進みました。鮎の塩焼きとフライが美味かったです。人気のある行事で、19人の出席がありました。会員の方も美味しく和気あいあいと楽しい時間が過ぎました。これからも、この行事は続けていきたいと思えます。

スポ・レク部会の行事も令和4年度は、総会・ボッチャ講習会・ボウリング大会・グラウンドゴルフ大会が出来ました。コロナ禍の中、きまりを守って楽しんでいければと思います。事務局の皆様、小野里さん、役員の方、会員の方と楽しくやっていたらと思います。

女性部会だより

群馬県身体障害者女性部会会長 青木 眞澄

明けましたおめでとうございます。

昨年の9月21日は3年ぶりで日帰りバス旅行に出掛けることが出来ました。お天気にも恵まれ、沼田でのゆばすくい体験や女性の大好きな買い物、温泉（しゃくなげの湯）も満喫し、日々の疲れも少し癒やされたことと思います。

又、12月1日には手芸会も実施することが出来ました。講師の関口先生と以前身障連に勤務されていた西富さんが丁寧に指導して下さい、皆さんそれぞれ個性豊かで素敵な正月飾りが仕上がりました。きっと佳い1年が待っている様な気がします。手芸が得意でない方にも、誰にでも出来る様に工夫し、教えて下さるそうですので次回は是非お出掛けになって下さい。

コロナ感染に充分注意しながらこれからも楽しく充実した日々を送りたいと思えます。

本年も宜しく願い申し上げます。

オストメイトが自分らしく快適に生活できるように

群馬県済生会前橋病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 久住 美稚子

みなさまは「ストーマ」ってご存じでしょうか？

ストーマとは「人工肛門」や「人工膀胱」のことを意味する言葉です。

このストーマを保有されている方々を「オストメイト」と呼びます。オストメイトは申請されている方だけでも群馬県内には3000人以上、全国には21万人以上いるといわれています。

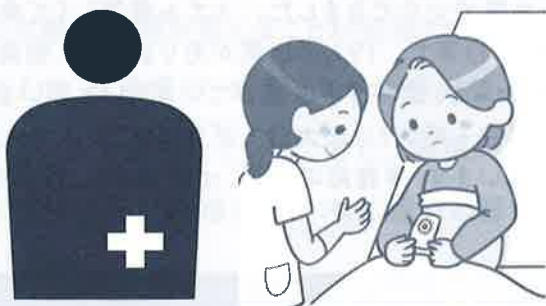
ストーマは、大腸がんや膀胱がんなどを患い、障害を受けた部分を手術で切除し、便や尿が切除した部分を通過させることができなくなった場合に造られます。「人工」という名前ではありますが、ご自分の腸をおなかに引き出して排泄物の出口を造設します。

オストメイトの方々は、手術後はおなかに専用の装具を貼り、週2～3回程度の交換をご自分やご家族、訪問看護師等と行うことが必要になります。人それぞれ顔や体型が異なるようにストーマは造設される位置により、排泄物の形状や量が異なり、個別性を重視した装具の選択やケアを行う必要があります。手術後に装具の管理を行いながら生活することは、みなさん初めてで退院後も不安が伴います。また手術後は障害を受けていた部分が改善したり、悪性腫瘍の場合には病状が進行したりすることもあるため、ストーマの形や体型が時間の経過とともに変化し、装具の再選択やケアの再検討が必要になることがあります。

バリアフリーやSDGsが叫ばれるようになった昨今、公共機関やショッピングセンターなどにはオストメイト対応トイレが設置される施設は増加しています。これらはオストメイトの方々の継続的な活動により、2000年頃より全国各地に設置されるようになり、社会復帰の契機になったものです。

私たちは日常生活を送る際に洋服を身に着けていますので、オストメイトの方々を外観で判断することは困難です。またオストメイトの方々はストーマを保有しているということを周囲にカミングアウトすることでご自分のイメージが変化してしまうのではないかと不安をお持ちの方が多くいらっしゃいます。

オストメイトについて正しく認識していただき、ストーマを保有していても、その方らしく、快適な生活を送れる社会が実現できることを切に願います。



オストメイトマーク

ストーマの専用装具を装着しているイラスト

編集後記

昨年も新型コロナウイルスは収束しませんでした。そんな中、関係機関のご協力の下、本連合会主催事業は全て実施することができました。本年もWITH

コロナをかけ声により多くの事業が実施できることを願っています。